

第101回交通工学講習会(大阪)

TOP/TOE 継続研鑽(CPD)認定プログラム (3H 単位)
交通工学研究会は建設系 CPD 協議会に加盟しています

自動走行システム～自動運転社会の実現に向けて～

最近、高齢者によるアクセルの踏み間違いによる痛ましい交通事故を耳にする機会が多く、高齢化社会の進展に伴って更に多発する恐れがあります。また、高速道路における停車車両への追突死亡事故は行政側で決定的な対策を講じることが困難です。さらには、人口減少社会突入により生産人口が減少する中、国際競争力を強化する観点から物流の効率化を図る必要があります。これらは日本国を取り巻く大きな課題と言えます。自動走行システム(自動運転)がこれら課題解決の切り札であると期待する方は少なくないと思われます。更に、このシステムは地域公共交通の活性化にも大きく寄与すると考えられます。しかし、自動走行システム(自動運転)が普及する過渡期においては、都市部での渋滞悪化、システムの過信・誤作動による新たな事故の発生などが懸念されますので、交通工学の観点から課題を把握し、その解決策を提示していくことが重要であると考えられます。そこで、本講習会では、より良い自動走行システム(自動運転)の実現に向けて、最新の動向を紹介するとともに、現状の課題について報告します。会員の方々をはじめ、多数の皆様方のご参加をお待ちしております。

- 主催：一般社団法人 交通工学研究会 <http://www.jste.or.jp/> ■後援：警察庁・国土交通省
 ■開催日：平成30年10月19日(金) [受付開始:9:30] ■募集人員：200名(定員になり次第締め切ります)
 ■会場：建設交流館 グリーンホール 大阪市西区立売堀2-1-2 Tel06-6543-2551
 ■参加費：交通工学研究会 会員 8,100円 学生会員 3,600円 非会員 12,420円 (いずれも消費税含む)
 ■プログラム (講習タイトル及び講師は若干の変更がある場合がございますのでご了承願います)

1. 自動運転技術が拓く新たなモビリティ社会 内閣府では2014年度から5カ年の戦略的イノベーション推進プログラム(SIP)の一つとして自動走行システムを推進しています。その概略内容を紹介しますと共に、近年の動向、自動運転が今後の交通社会の変革へ向けて与えるであろうインパクトについて私見を紹介します。	大口 敬 (東京大学)	10:00～ 11:00
2. 自動運転の実現に向けた警察庁の取組について 自動運転の実現に向け、警察庁が進めている車両に対して信号情報等を提供するシステムの技術開発に係る内容を中心に、現在取り組んでいる各種施策について紹介します。	泉本 央 (警察庁 交通局 交通企画課)	11:00～ 12:00
休 憩		
3. 中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービスについて 2020年の社会実装を目指している中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービスについて、実証実験の状況およびビジネスモデル検討会における検討状況等について紹介します。	上原 光太郎 (国土交通省 道路局 道路交通管理課 ITS 推進室)	13:00～ 14:00
4. 自動車の自動運転機能の進化と課題 これからのクルマは、事故を未然に防ぐ技術や、自動運転機能が装着されてくると言われています。こうしたクルマの自動運転機能の動向、実現に向けた課題および道路交通社会への影響について紹介します。	杉浦 孝明 (株式会社 三菱総合研究所 主席研究員)	14:00～ 15:00
休 憩		
5. 愛知県が取り組む自動運転関連の施策について 自動運転の実証実験等に取り組む、愛知県の社会的・産業的背景や経緯、これまでに得られた成果を中心に、今年度取り組んでいる内容について紹介します。	(愛知県 産業労働部 産業振興課)	15:10～ 16:10
6. 自動運転の実用化に向けた法整備: 現状と展望 自動運転の技術は、いわゆるレベル 3 までは現行法の下で認められる余地がありますが、レベル4、5を利用するには法改正が必要となります。法解釈と法改正を目指す国内外の現状と展望について話題を提供します。	今井 猛嘉 (法政大学)	16:10～ 17:10

★悪天候時の対応など、緊急の連絡は、当会 WEB ページ <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。

■お申込について:

- お申し込みの確認後、見積書・請求書・納品書及び参加カード等書類をお送り致しますので、お手元に書類が届きましたら、ご確認・お支払いの手続きをお願いいたします。
- 開催日の1週間前になっても書類が届かない場合は事務局までご連絡ください。
- 参加カードは資料引換券となりますので、当日必ずお持ち下さい。
- お申込後、参加できなくなった場合、または代理の方に変更される場合は、必ず事前に事務局にご連絡をお願いいたします。
- 当日ご欠席された方には、後日資料を送付させていただきます。連絡無くご欠席の場合、開催後日にはキャンセル扱いが出来ませんのでご注意ください。
- お支払いは、郵便振替または銀行振込よりお手続き願います(どちらも振込手数料はご負担願います)。

第101回交通工学講習会 参加申込書		FAX 03-6410-8718	
勤務先住所	〒	当会のイベントや新刊情報等のダイレクトメールを希望する場合は○印を →	
勤務先名称			
とりまとめご担当者連絡先	TEL	FAX	請求書発行に関するご要望
とりまとめご担当者の氏名 (参加者ご自身の場合は記入不要)			
参加者氏名	参加者所属部課名		参加者会員区分
			正会員・特別会員 学生会員・非会員
			正会員・特別会員 学生会員・非会員

お申込・お問い合わせ

一般社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MKビル 5階 Tel 050-5507-7153 Fax 03-6410-8718